新春の辭

滿洲建設の途上を行く

關東軍參謀長 小磯國昭

大同第三の新春が早くも滿洲國を訪づれた。春とはいへ、外は萬象みな凍りつき、吐く息さへも凍る酷寒の眞中ではあるが。ひとり此の國こそは內に淸新をたたへて勇ましや脈うつてゐる、堅氷を碎いてひたすら躍進を續けてゐる、春は如實に榮光燦たる待望を擁して此の國に蘇つた

昨年の今頃は、山海關方面に風雲起り、陣中の年頭一しほ慌だしかつたが、春尙淺き二、三月の交、餘儀なく企てた熱河の肅正は、疾風迅雷の勢を以て進捗し、皇軍到る處鎧袖一觸、敵軍を粉碎し、敵將湯玉麟は辛くも身を以て境外に逃れ、其の後、さしも執拗に反滿抗日を續けた滿洲攪亂の本尊張學良も、遂に下野外遊の已むなきに至り、次いで五月盡日、前非を悔いた支那軍の請ひを容れ、塘沽に結んだ停戰協定の結果、此の方面の治安は概ね確保さるるに至つた。しかし當時全滿を見渡すと尙局部的に潛在する殘存匪賊は時に寸隙に乘じて立ち、動もすれば斷末魔の蹂躪きを敢てせんとする動向を見せてゐた。其處で關東軍は全滿の治安を更に一層理想境に近づける爲、兵力を各要地に分散配置して彼等の盤踞を封じた。また七、八の兩月にかけて東邊道地區の討伐宣撫を繰返し、更に時移つて十、十一の兩月には、吉林省を中心とする滿洲東部一帶に亘る掉尾の大掃匪を敢行し、草賊殘匪の絶滅に力を致した、かくして各方面に對する討匪宣撫の兩工作が、常に步調を一にして行はれ、思ふ存分に遂行された結果、滿洲國の全版圖に建國以來未だ曾て見ない治安狀態が招來され、靜謐にして平安な此の新春を、三千萬民衆と共に壽ほぎ得たのはまことに欣快に堪へない

滿洲國建設の途上、先づ第一に急務とされたのは治安の恢復であつた、其の治安恢復は幸にして已に九分通り實現された、しかし百里をゆくものは九十里を以て半ばとす、治安の恢復はその永續に依つて眞價が發揮される。決して現狀に滿足すべきではない、今後は其の維持と確保とを目指して精進すべきである

由來治安維持と交通通信機關の整備とは、相倚り相扶けて益々兩者の完璧を期し得る此の兩方面の整備且現は、畢竟滿洲國運營の點睛とも云ふべき產業の開發上唯一の順路といふべきである、茲に於て王道文化の一基調を爲す交通通信方面の進展振りを一瞥する要があらう、滿洲國所屬の鐵道、港灣、水路は之を擧げて此の種業務に最も堪能にして且つ經驗を積める滿鐵の經營に委任し夙に其の運營工作の促進に力を注いだのであつたが、北鮮の海港に直通する所謂京圖線は、去る九月一日から本格的に營業を開始した、斯くして北滿の門戶は愈よ日本海に其の扉を開いた、この京圖線は過ぐる十月から滿鐵經營に移つた淸津以北の鮮內鐵道と一貫して、日本海の航運と相連絡し裏日本の諸港と通じ、他日日滿兩國の首都東京、新京間の交通時間は、現在の七十時間より更に遙に短縮せられるであらう、また目下工事中なる哈爾賓對岸呼海線の終端松浦と京圖線中の一驛たる拉法とを結ぶ所謂拉賓線も去る十二月十六日を以て全通運轉を開始した、從つてやがては黑龍江とウスリー江とで包圍する全滿洲の約四分の一に亘る富める疆域を背後の經濟圏に收めて、日本海に集注することにならう、日本海を一沼湖とする時代は已に招來された、日滿經濟ブロツク結成の一連鎖も亦己に繋がれた、かくては產業の開發も促進されずにはゐまい、滿洲現地の電氣的通信に關しては、日滿所屬のものを打つて一丸とした滿洲電信電話會社が現に迅速且つ圓滿に其の通信を實施してゐるから、此の點については、今更贅言を要す必要もあるまい

尙滿洲國政府の國道局は銳意國內道路の建設に當り日夜工事の竣成を急いで來たが、最近其の工程著しく進捗し、之に伴ふ自動車交通の普及となり、兩々相扶けて治安の維持と產業の開發とに貢獻してゐる、昨年九月開業した滿洲航空會社は、奉天を中心に、新京、哈爾賓、滿洲里、大連、新義州、龍井村間に約二千粁の營業航空路を有するのみならず軍事上の要求に基き上述以外の各地を連絡して國際の上空を蔽ふ總計四千粁餘の大航空路を形成し現に良好な成績を擧げてゐる、交通機關の活躍は更に進んで水運の利用となり既に五色旗を飜した商船は哈爾賓、黑河間を往復し、滿洲國の交通が如何に目醒しく發展の途上を邁進しつつあるかを如實に立證してゐる

顧つて財政經濟の分野を一瞥したい、全世界の視聽を集めた所謂リツトン調査團の報告書中には「新國家の財政的地位は不確のものなり、其の假豫算は第一年の終りに於て二千萬圓の不足に直面せんことを豫期す」と特筆してあつたそれは必ずしも色眼鏡を透して生れた酷評のみとは斷定し能はぬかも知れぬ、しかるに滿洲國財政當局の努力と日本國民の熱烈なる援助とは小氣味よくも彼等の豫想を裏切り第一年度に於て、曾に舊軍閥秕政の苛斂誅求を根柢より改めたばかりでなく歲出入を通じ當初の豫算に比し逆に二千萬圓の好轉を示して居る、大同二年度に於ても財政の根本方針には全然變化がなかつたが、增稅募債共に之を行はずして、豫算總額一億四千九百萬圓に達し、しかも其內には產業開發と國民の福祉增進の爲に要する經費の相當額を計上してゐる

第一年度に於ける歲出入の實績と其の後の財政推移とに徵すれば、此の年度に於ても第一年度に優るとも劣らぬ歲出入の好轉が豫期され、財政の基礎は年と共に強固の度を加へ來つてゐる、一方多年支離滅裂を極めた舊紙幣の回收も其の後頗る順調に進捗し、馬占山の發行した馬大洋も既に回收され、熱河省の通貨たる熱河興業銀行券も亦回收を終つた、從つて當初豫定した舊紙幣全部の回收期限たる本年六月末までには、ほゞ豫定通り其の回收を完了し得る見込が確立した。かくて國幣の信用は愈よ堅く、其價値は完全に維持せられ、しかも安定を續けてゐる、殊に奉天に造幣廠を新設して、銅貨、白銅貨の鑄造を開始して以來、國幣の流通は全國的に著しく其の滑かさを擴大して來た、斯くの如きは滿洲に於ける空前の事實であつて、滿洲國の朝野が通貨の統一安定を以て滿洲國善政の第一と稱してゐるのも決して誣言ではない、財政金融上に於ける此の素晴しい進步も建國後僅々二ケ年有餘にして招來されたのであつて嘗てリツトン報告に憤慨した當年に較べたら實に隔世の感なきを得ない、併し乍ら財政方面に於て稅制の根本的改善を企て、國民負擔の普遍公平を實行し、毫末と雖も王道政治の名に背かしめざるは將來に貽された大問題である、また金融の方面に於て中央銀行の外各種金融機關の整備を計り、以て國民の間に於ける信用制度を確立し、流通經濟の圓滿を期することは、今後に約束された大事業である、新春と共に其の計畫施設の實現に向つて邁進すべきであると共に、其の實現は日本國民の惜む所なき後援を俟つて初めて達成せらるべきである

財政經濟の發達を說いて此處に至り、更に重要度を痛感するのは產業の開發である、埋藏されてゐる莫大なる富源の開發こそは滿洲國完成への永續的事業であるが、此の方面の事業は未だ漸く其の緖についたばかりである

一切が是からである、この舞臺には日滿經濟ブロツク結成を目標として上演すべき重大工作を待望してゐる、尤も國備と國防の命ずる所に從ひ重要な基礎產業は旣に國家統制下に置かれることになつてゐるが自由企業の方面に日本國民の進出すべき餘地は頗る多い、經濟建設の諸計畫中、石油、炭礦、マグネシウーム、硫安、電氣、採金、酒精、セメント、製麻、釀造、牧畜等諸會社は旣に設立せられ、若くは設立の上にある、かくして刻下の滿洲にとつて最も痛切な要求は資本の進出である、滿蒙の現地に足を踏締めて、建國創業の大業に沒頭する人々には產業開發の爲に今や身命を賭して努力してゐる其の熾烈なる奮鬪振りは聽し九千萬同胞に反映して顧みられずにはゐまい、新春早々鶴首して待たるゝものは理解ある篤志家の奮起であり、內地資本の滿洲進出である

最後に移民の消息を語らう、過去二年に亘つて佳木斯地方に入つた第一第二の兩自衞移民約八百名は、北滿開拓の先驅者たる重責に鑑み、孜々として農業に從ひ酷寒と匪害を凌ぎ來つて冥志の意氣頗る軒昂、且に國防の第一線たる大和民族の堅固なる集團を結成の北滿の山野で萬丈の氣を吐いてゐる。此の方面の移民が積んだ體驗と重ねた試鍊とは當局者に多大の參考資料を提供してゐるから、之を參酌して更に新な自由集團移民の入植が實現するであらう、想へば滿洲移民の前途は實に洋々たるものである

顧し來れば治安の恢復は民心を安定せしめた、交通、通信機關の整備は治安の確保に根基して產業の發展を促してゐる、財政の確立は國家建設の基礎を鞏固にした、國幣の安定流通は三千萬民衆をして新國家禮讃の叫びを放たしめた、活潑なる新興氣分は渾然として全國民を蔽つてゐる、彼此果となり因となつて經濟界は頓に活氣を呈し、百姓共に興らうとしてゐる、かくて滿洲國の春は如實に蘇つた、斯くして滿洲國完成への步みは今後愈よ顯著であらう、道路、國道、治水產業等の開發には其の施設上更に一步を進めるであらう、教育の振興と徹底新文化の興隆と普及とは當然王道國家今後の大使命でなければならぬ、滿洲國盛衰の岐るる所は一に今後の發展如何にある、九仞の功は一簣に虧き易い、日滿官民には今年も亦一段の奮起と努力とが要求されて居る

吾人は無限の喜びを以て滿洲國の新春を迎へた、しかも其の祝福の裡に昭和九年、大同三年の年が寧ろ甚だ多忙であることを想ひ一步を誤れば日滿兩國共に復難關を迎ふるの懼れある事を忘れてはならぬ（終）

今年は俺の歳だ 非常時に相應しいブル君大威張り

年頭所感

南滿洲鐵道株式會社總裁 伯爵 林博太郎

限りなき新春の瑞光は、東方聖天子在す曉天より輝き初め、皇威八宏に普きを拜す、先づ聖壽の萬歲を壽ぎ奉ると共に、茲に非常時日本の經營としての我が滿鐵が天下の公器として更に進一步其の特殊使命に勇猛邁進を約し得ますことは獨り我が滿鐵、我が帝國の爲のみならず東亞の爲世界平和の爲に寔に慶祝に堪へない次第であります

顧みれば斯の世界恐慌の旋風は、光輝ある我が滿鐵をして此の難關を突破すべく拍車を倍加せしめたのでありました、實に我が滿鐵は善隣滿洲國產業開發の主動者として、幾多護神と化した誠忠なる社員の英靈に護られつゝ雄々しくも此の新情勢に應ずべく其の整備に專念し之が實行に挺身したのであります、即ち總資本八億圓への增資は克く全國民の支持を獲ち得るに至り鞍山製鐵所の分離獨立、滿洲化學工業會社の成立且は滿洲國有鐵道の建設經營の受任に及ぶ等何れも非常時日本の第一線を堅め社業の擴大強化を

年頭の感

外交部總長 謝介石

吾が國の春

呼に誇る春なれや

けだし三歳の春を迎ふる滿洲國は、善隣日本が盛運を堵しての支援と吾等三千萬民衆の燃ゆる努力とによつて政治に經濟に日を逐ふ躍進を續け、王道旗下將に洋々希望に充滿てる行路に立つ

看よ兇惡三十萬の匪徒は凋滅し、搾取の具たる劣惡貨は其痕跡を絶ち、民命頓りに蘇ひて產業興る、豈夫れ泰平の春を謳歌せざらんや

ああれ越し方顧みる幾多の犧牲を懷ふ時、吾等が胸は頓にも潰え、扁として斷腸に傑ひ顧みては感激に潑つて負託の重きに是れ任ず

かくて盟友との提携彌々固く、既に東洋の安寧と福祉を確保し、聽ては俱に世界の平和と人類文化の向上に貢獻せんとす、憾むらくは未だ隣家四億の親しき民衆が列國の動向も推移も他に、私權の鬪爭を事とし、徒らに口掛りに拘泥して悟然東洋に歸するを遲疑することこれなり

天旋し宇內元旦を將くの時同胞反顧の現況正に天意に悖る。速かに來つて俱に共に人類生存の本義に殉はむ

關東軍 戊歲四人男

非常時日本の尖端に立つ關東軍高級將校の中に、戊年生れの四大佐が光つてゐる 曰く佐々木、小松原、喜多、松室の大佐だ、佐々木、喜多、松室三大佐は支那通、小松原大佐はロシア通として揃ひも揃つて其の途の權威として自他共に許し、非常時陸軍に無くてならぬ人々として至寶的光彩を放つてゐるのも珍らしい

何れも明治十九年生れの戊年で、本年とつて四十九歲、

△軍政部顧問、佐々木到一大佐

廣東駐在武官、北京公使館附武官、南京駐在武官、警備聯隊長、上海派遣軍高級參謀、第九師團參謀長等を經て、關東軍司令部附滿洲國軍政部顧問の現職に任ぜられた經歷によつても分る樣に大佐は押しも押されもせぬ支那通だが殊に國民黨通の第一人者として光つてゐる、國民黨の廣東逼塞時代旣に國民黨の今日を看破した大佐の先見の明は餘りにも有名である、蔣介石の北伐には請はれて私人の資格で同行濟南事變に遭遇、血迷つた南軍暴兵の爲め負傷し、更に上海事變では軍幕僚とは云へ、日夜砲火の洗禮を受ける等幾度か死線を越へた男士である

△ハルビン特務機關長 小松原太郎大佐

大佐が現職に任命された時モスクワ政府は「小松原大佐の就任は對ソ積極策の現れに相違ない」と狼狽し、その近視眼的觀察を笑はれたが、事程左樣に大佐は昔に聞へたロシア通であると同時に、ソ聯邦にとつては怖いおぢさんである

大佐は參謀本部ロシア班長駐ソ大使館附武官、佐倉聯隊長を經て現職に坐り、千鈞の重味をもつて、暗雲低迷する北方の空を、じわりと睨めてゐるといふ譯である、滿洲里事變に際し單身ソ領マチエフスカヤに飛び、監禁日本人全部を救出した腕の冴へと膽力は、未だ世間の記憶に新しい

△關東軍司令部第二課長、喜多誠一大佐

大佐と支那との關係は、中尉時代支那駐屯軍附となつた以來の事で北京公使館附武官、南京駐在武官、大阪卅七聯隊長、上海派遣軍高級參謀等を經て、武藤元帥に從つて現職に就き、爾來日夜不眠不休帷幄に參與して幾多の功績を遺したが、最近は岡村參謀副長を援けて停戰協定の締結を見次で滿洲北支間を往來して華北政權と日滿關係の正常化に努力し、良好なる結果を齎らした大佐の政治的乃至外交的才能も見逃してはならない

△チチハル特務機關長、松室良孝大佐

張家口駐在武官、馮玉祥最高顧問、騎兵第一聯隊長等を經て昨春チチハル特務機關長として來滿、幾何も無くして熱河聖戰に作戰指導官として坂本部隊に從軍、後承德特務機關長となり、次で再びチチハルの現職に歸つたものである

大佐の過去が余りにも小說的であり、波瀾に富み、危機一髮の連續であることは周知の所である、天津で暴虐なる奉天軍に捕はれ、將に銃殺の一瞬前危ふく虎口を脫したり又最近は某重要任務を帶び多倫に飛行中匪賊に捕はれ、生死不明を傳へられたが大佐の奇智巧みに禍を變じて福となし、匪賊三萬の歸順を手土產に無事生還した等々の小說よりも奇しき半生は、或は新聞紙に、或は雜誌に掲載せられて繰返へす必要が無い位である、大佐は蒙古通として陸軍部內に輝いてゐるが、同時に支那通としても聞へてゐる

戊歳の歴史

古代から昭和の現代まで　織り込まれた事件の數々

今年の干支に因んで、遠い昔から昭和年間になるまでの、戊歳の歴史を振り返つて見るのも新年らしい興趣を覺えるものである、そこで筆を新たに、こゝに來歷の御紹介をする事にしたが、殘念な事には紀元二千年前には戊歳にこれといふ特筆すべき事件がない、尤も隣邦支那では、日本紀元一一〇年の戊歳に孔子が生れ一八二年の同じ戊歳にその孔子が沒してゐる外、二一九〇年の戊歳には孟子が生れてゐるといふ有樣で、戊歳と聖人との奇緣をつくつてゐるが、それは本物語には材料にならない、だから、こゝにはそれ以降の日本の歴史が生んだ戊歳の事件から書き始める外はない

さて、前書はそれ位にして、いよ〳〵解説に入るが、先づ皇紀六三八年の戊歳——即ち垂仁天皇の七年七月には、彼の有名な野見宿禰が當麻蹶速と角力を取つてゐる、これがそもそも我國の國技なる相撲の始めである

ついで景行天皇の二十八年紀元七五八年の戊歳には、日本武尊の熊襲平定が完成して二月、平定の有樣を天皇に上奏して、神國日本の皇威漸く擴がり、帝大の基礎固きを加へるに至つた

以後五百年、我國の文化政治の狀態は漸く複雜に發展し來たり、その間大化改新の大きな社會的變化の時代に遭遇する、滔々として海外文化が侵入して來たうちで、一番大きな影響を持つたものは佛敎であつた、從つて佛僧の專橫を極める弊害を生じ、遂に僧道鏡の如き者が出るようになつた、幸に和氣淸麿が大隅に流されるに至つたのは史上に有名なことであるが、光仁天皇の寶龜元年九月、紀元一四三〇年の戊歳には、道鏡が貶し淸麿を召還され、光輝ある萬世一系の皇統が完保された

桓武帝の延曆十三年、皇紀一四五四年の戊歳には、帝都を平安に定められ、平安朝の基礎が成つた、次の一四六六年の戊歳には、僧空海が歸朝しく眞言宗なる佛敎の一宗を立てたことも記憶すべき出來事である

これから鎌倉時代に至る約四百年間の戊歳には、特筆すべき事件もないが、たゞ火に關する事件が相當に多い、例へば、一五三七年には興福寺一六七四年には京都全市、一六三四年には大安寺寶藏、一七〇六年には大政官朝所及び再び興福寺、一七一八年には禁裡及び法成寺、一七三〇年には感神院、一八〇一年には延曆寺といふ順序で皆火災を起してゐる、その外一八五〇年後鳥羽天皇の建久元年には彷徨歌人の西行法師が沒してゐる鎌倉、室町の時代を通じても戊歳は比較的事件の少い歲である、一八六二年、土御門天皇の建仁二年の戊歳には鎌倉幕府の源賴家が征夷大將軍に任ぜられてゐる、然し我國最初の封建政府もこの三代將家で潰れ代つて北條氏の權勢下に移り、建武中興の失敗はやがて我國の暗國時代たる南朝北朝の吉野朝廷時代を現出するが、二〇一八年、後村上天皇の延文三年の戊歳に足利尊氏の病沒と共に漸く終末を告げ、室町時代が之に代るようになるのである、しかし室町時代は間もなく戰國時代の渦中にまきこまれ、戰亂に次ぐ戰亂の各年を經るに至つたが織田豐臣の時代が漸く平和の一步を踏み出すことになる即ち、織田信長が明智光秀に弑せられて後豐臣秀吉は一擧天下を平定し、二二四六年正親町天皇の天正十四年の戊歳の正月に德川家康と和し、五月家康が秀吉の妹を娶るに及んで、こゝに全日本は秀吉の支配下に屬するに至つた、この年の二月豪華を誇る聚樂第成り、十二月には秀吉は太政大臣に任ぜられ豐臣の姓を賜はつた、又秀吉は方廣寺を造營し、大佛殿を建つる等、實に榮達の絕頂にあつたと言へる、しかし次の戊歳である二二五八年、後陽成天皇の慶長三年に秀吉が薨ずるや、豐臣の榮華も挽歌を奏でる時が來た

歷史はこれから近世史に入る秀吉の沒後十二年目の戊歳、即ち二二七〇年は、既に德川秀忠二代目將軍時代である、此年細川幽齊、本多忠勝等の勇將が前後して死沒してゐる又この年は平戶を蘭人の商港とし、西班牙に使を遣す等、所謂國際的文化は漸く華やかになつて來た

元日ノ衛兵勤務

ウム今年ハ面會人モ景氣ガエヽゾ

凸山へ餅カナ？　凸丼ノハミクンノラン

謹賀新年

新京滿鐵地方事務所 主事 社會 野村■理

東亞煙草會社 新京駐在所 中山佐四郎

新京商業會議所 書記長 大垣鶴藏

滿鐵新京圖書館長 木下助男

加藤捨次郎 祝町二丁目

日本赤十字社 新京委員支部

丸平洋行 尾本留三郎

谷口商會 谷口清

宮崎組新京出張所 田中卓二

大阪朝日新聞販賣部 朝日舍 栃尾幾太郎

鵜殿兄弟商會 鵜殿長壽惠

兒玉疊商店 兒玉繁太郎

綿商 中村綿店 電話二六六一番

食料雜貨 今田商店 電話二三三二番

食料雜貨 山本商店 祝町二丁目 電話三九五八番

喫茶 朝日堂喫茶店 電話二五九一番

和洋雜貨 大葉商店 電話二六七四番

ライオン號百貨店 赤木洋行

山本羽根布團店 吉野町二丁目

日鮮貿易精米所 電話二三一七番

和洋菓子 日新堂 吉野町一丁目 電話三〇三三番

靴さ洋服 田中靴店 電話二八六〇番

時計商 大正堂時計店 東二條通

時計眼鏡 金華堂 新京銀座通 電話二六四五番

蓄音器レコード 小關樂器店 吉野町一ノ二五 電話三二六一番

小林履物店 電話二三四四番

炭安商店 電話三〇〇五番

小間物 和洋百貨 カ商店 電話三〇九二番

書籍文具 森野商店 電話二一五一番

世帶道具商 河久商店 電話三二〇四番

三宅提灯店 東一條通 電話二六四八番

食料品商 丸三洋行 東三條通 電長三〇二六番

野中產婦院 三笠町一丁目 電話三二〇一番

ミツワ屋書店 吉野町二丁目 電話三三三二番

池畑自轉車店 東一條通 電話三四二五番

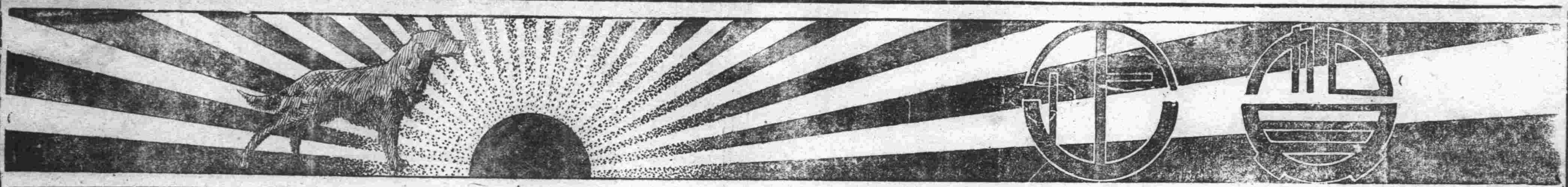
石山商會 富士町三丁目 電話二〇五一番

仁和洋行 新京三笠町三丁目 電話二五八二番

滿洲醬油合資會社 新京富士町三丁目 電話二一七三番

品川洋行 新京支店

會席御料理 大辰 電話二九八八番

ダンスホール キヤピタル 上野由人 從業員一同

朝鮮總督府事務官
堂本貞一
新京大日本帝國大使館

吉長吉敦鐵路管理局
總務處長
味岡謙

吉敦吉敦鐵路管理局
工務處長
村山末男

吉長吉敦鐵路管理局
加來惟利

吉長吉敦鐵路管理局
運輸處長
片瀬晋

吉長吉敦鐵路管理局
會計處長
渡邊正太郎

吉長吉敦鐵路管理局
福原昌龍

吉長吉敦鐵路總局

新京郵便局
局長
高橋富十郎
外職員一同

新京驛區長一同

新京附屬地
各學校長一同

滿洲國新京頭道溝
郵局長
樋口好男
外局員一同

國際運輸株式會社
新京支店長
蓼沼泰一

新京居留民會長
田中善平

新京金融組合
理事
佐野義臣

南滿州瓦斯株式會社
新京支店長
青木哲皃

東洋拓殖株式會社
新京支店長
渡邊得司郎

新京輸入組合
理事
久末吉次

滿鐵會社新京販賣事務所
所長
久松治

南滿洲鐵道株式會社

南滿州瓦斯株式會社
新京支店
新京羽衣町四ノ一

新京輸入組合

滿鐵新京醫院
一同

新京藥業組合

榊谷組
新京出張所
新京中央通四一
電話三二〇七番

謹賀新年
在新京日本總領事館
總領事 吉澤清次郎
副領事 佐々木高義
領事 花輪三次郎
吉長吉敦鐵路局長
酒井清兵衛
新京地方事務所長
荒木章
外係員一同
新京地方委員
(イロハ順)
伊東正夫
得丸助太郎
劉鳴岐
沼田勇
大原万千百
加藤金保
孫化南
中山恕世
上田賢象
黑田實
山口義人
五味武太郎
宛榮臣
佐藤宇治太郎
宮城調明
新京組合銀行
正金銀行新京支店
朝鮮銀行新京支店
滿洲銀行新京支店
正隆銀行新京支店
新京銀行
東洋拓殖株式會社新京支店
滿洲國通信社
滿洲中央銀行
總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
同 吳恩培
同 武安福男
同 劉燏棻
同 五十嵐保司
同 劉世忠
監事 闞潮洸
株式會社 三中井新京支店
河井文三
日本橋通七九
電話二四一二番
滿洲國協和會
新京石炭商組合
松茂洋行 電話二〇四二番
泰利號 電話二七六〇番
加藤洋行 電話二〇三二番
大昌煤局 電話二五八二番
裕新公司 電話二三一三番
仁和洋行 電話二五八二番
泰山號 電話二一五八番
新泰洋行 電話三一四九番
滿州土木建築協和會
新京分會

ドキドキ 非常時日本に踊る
荒木、松岡、鳩山三人男

非常時、非常時つて、この唄や新聞を讀んでも、雜誌を見てもきつと「非常時」だ、イヤ、橋の下に集喰ふルンペン諸氏の話を聞いて見給へ、何と、非常時は其處までも侵略をホシイマヽにしてゐるのである

ところで僕、この「非常時」と云ふやつ、一体いつからいつまでがそうなんだか、どうもよくわからん」もつとも某大臣閣下の曰く非常時とは、人間生まれてから死ぬまでがそうなんでアルつて云つたがどうも、生まれてから死ぬまで、非常時なんて窮屈なものが續いたのぢや、全くたまらん、誰だつて、たまにや呑氣になりたい時もある、若しも、本當に非常時つてものが、そんなに長く續くもんだつたら今に、日本人の顔は淺草の仁王門の仁王様みたいになつちやふだらう

ところが、そんな顔にならない所を見ると、某大臣閣下の御託宣は、どうやらインチキくさくなる、もつとも、そう云へばある大臣閣下は、大分仁王様くさい顔だつたつけ

目下のこの「非常時はいつから始まつたんだと云ふと僕はかう思ふんだ、つまり「國際的非常時」は例の滿洲事件から始まつて、「國內非常時」と云ふものがあつたとしたらそれは、例の五、一五事件から始まつたんだ、だつて、あの時犬養さんが死んで、齋藤海軍大將が總理大臣に轉向した時「齋藤非常時內閣生まる」つて、それ以來、「非常時」が流行り出したからだ、流行り出したつて云へば「紙芝居」もこの唄から流行り出した、だから、あれは一種の「非常時餡屋」だ

荒木貞夫大將

今、紙芝居つて書いたら、依然ぼくは陸軍大將荒木貞夫と云ふ名を、思ひ出しちやつた、紙芝居から陸軍大臣を聯想するなんてのは、隨分失禮な話だが、實は、あの紙芝居が流行り出した頃陸軍省だかで「紙芝居は軍事思想普及上ハナハダよろしい」つて云ふ様なことを云つたのを、思ひ出したからだ、そう云へば、一時ぼくらは何處へ行つても「肉彈三勇士」の紙芝居にぶつかつたもんだ、全く、紙芝居と荒木大將とは、軍事思想普及には非常に貢獻したもんだ、と、ぼくは思ふ

で、荒木貞夫大將だが……

元來ぼくは、陸軍大臣てものは、陸軍大將がなるもんだと思つてたら、アニハカランヤ荒木さんはその當時中將だつた、中將にして大臣になつたんだから、荒木さんて人は相當なもんだと思ふ、けど、およそ階級と云ふものがやかましい軍部で、中將の大臣が大將に命令したりなぞしてたんだから、可成り「世はサカサマ」だと思ふけど、矢つ張りそこが荒木さんの偉い所なんだらう

事實、荒木大將はやり手だ、やり手つてものは、何處へ行つてもあんまり喜ばれるもんぢやないんだが、しかし、不思議に荒木さんは、軍部間で評判がいい、それは、荒木つて云ふ人間が……荒木さんの性格が、今の軍部の意識を、實に明確に反映してゐるからだ

少しばかりウルサ方で、無暗に鼻つぱしが強くつて……この頃、日本の外交方針が馬鹿に強氣になつたのも、どうやら、荒木大臣が、大いに幅を利かしてゐるかららしい……

荒木貞夫大將……東京は淺草の產である、ジャズとカツドーとインチキレヴュウの本場淺草から、日本のファッショの親方が出たんだから、こいつはまさに「浮世」である、しかし、親父さんは、九州久留米藩を勤王の爲に脫藩したのだそうだ、この點、正義の爲に國際聯盟を脫退したのとよく似てゐる

ある朝、ぼくが淀橋の淨水堤を散歩してたら、突然、ある一軒の家から「ウエーッ」と云ふ、物凄い聲がした、それは、口をすゝぐ時痰を吐く聲だ、だが、その音があんまり物凄かつたんで、ぼくは、表へまはつてその家の標札を見たら「荒木貞夫」つて書いてあつた、だからあれは多分陸軍大臣の「ウエーッ」だつたんだと思つて、とても感心しちやつた、今でもぼくは、荒木さんの寫眞を見る度に、あの「ウエーッ」を思ひ出すのである

松岡洋右氏

松岡洋右さんは、あんまり偉い人ぢやないと思ふ、どつちかと云へば運の良い人だつたんだ、と云ふと、天下の松岡ファンは「大石の野郎なぐつちやへッ」つて憤慨するかも知れないが、松岡さんは偉くないつたつて、凡クラだとか馬鹿だとか云ふんぢやない、つまり僕は、松岡さんを英雄偉人にしちやふのがいやなんだ、だから松岡さんは、あくまでも普通の人間で、少しばかり利巧で、馬鹿に運が良かつたんだ、と、ぼくは云ひたい、そんなら別に、僕はなぐられないですむだらうと思ふ

松岡洋右は、政友會の……陣笠ぢやないが、とにかく一代議士でしかなかつた、そうして、外國で教育をうけて、英語が達者で、頗る能辯家で外交通だつたんだ、そこで、滿洲事變から國際聯盟が揉め出した時、以上の理由で、首席全權と云ふ結構な肩書を貰つてヂュネーヴへ出かけた、つまり、運がよかつたんだ、だつて、あの場合誰が行つたつて、結局日本はあゝなるにきまつてゐたんだ、だがしかし、誰が行つても、あの時の松岡さんの様に、大向ふを唸らせるわけには行かなかつたかも知れない、其處が、松岡さんの得なところだつた、即ち松岡さんは、頗る能辯家で、英語を、毛唐と同じやうに達者に操ることが出來たからだ

若しも松岡さんが、松岡さんの前の全權芳澤さんみたいに、英語がうまくなくて、云ひたいことを思ふ存分しやべれなかつたとしたら、松岡さんはたゞ國際聯盟を脫退する爲に國費を使つて出かけた人、にしかすぎなかつたらう

松岡洋右……山口縣熊毛郡室積町の產、松岡家は代々同町きつての富豪だつたが、洋右が產まれた頃から左前になつてしまつた、彼が十三の時伯父さんがサンフランシスコで成功して歸つて來て、散々に洋右少年をアヂつたので、彼すつかり洋行熱にうかされとうとう伯父さんと一緒にアメリカに渡ることになつた、渡米した彼は、型の如くスクール、ボーイになつてハイ、スクールを卒業し、オレゴン大學に入つた、そうして、卒業の時には見事に第二席をかち得た、と何時に、歸朝した彼は專修大學へ入學し、政治經濟を專攻し、また外交官試驗を受けてパスし、外交官になつた、そこで彼の英語が大いに幅を利かせ、佐分利の佛語、松岡の英語と云ふ定評を得るに至つた

だが松岡はやがて、政治家に轉向した、政治家の方が、外交官より正直なのか、どうかぼくはよく知らない

上海事變が突發した、時の外務大臣芳澤謙吉の依賴をうけて、彼は上海に渡り、大いに腕を揮ひ、とうとう國際聯盟への首席全權にまで引張り出されることになつた、それからの彼は、余りにも有名だから省くが……外交官商賣が厭になつて政治家に轉向した彼が、再び外交官として成功したのだから世は様々である

文部大臣鳩山一郎

何で云つても（非常時）だ、經濟的にも、外交關係に於ても、軍事上でも、日本は非常時だ、だから當然……と云ふのも變だが、思想的にも日本は非常時である、そこで、思想と云ふ厄介極まる奴だがこいつ、どうも教育と云ふものに、非常に左右される、つまり、思想的非常時は同時に教育の危機だ、だから、鳩山文部大臣も相當に非常時だ」

鳩山一郎……鳩山和夫の子と云ふよりも、良妻賢母の元締格春子夫人の息子、と云つた方がいゝ彼一郎君、とにかく、近來稀なる朗か人種である、朗かと云つても、或は彼自身はちつとも朗かなんぢやないのかも知ないが、一般の定評がそうなつてゐる、成る程、彼は全く朗かに見える

リーグ戰の始球式にストライクを投げ込んで喜んだり、ゴルフに血道をあけて、「非常時に大臣がスポーツに凝つちや困る」と云はれると、「腹が減つたと云つても飯ばかり食つてゐられるかい」とばかり相變らずクラブを振りまはしてゐる、人稱して、「スポーツ大臣」と云ふ所以である

駒澤あたりで、汗を流してクラブを振りまはしてゐる所を見ると、如何にも香氣なお坊ちやんらしいが、あれで中々油斷は出來ない、例の「インチキ學校退治」がそうだし「無任所大臣」問題などでは、可成り策動してゐた、しかし奸漢やりすぎて尻を割らない樣に御要心、（寫眞上より荒木陸相、松岡洋右氏、鳩山文相）

日滿戊年名士

△丁交通部總長　交通部總長丁鑑修氏は四十九歲の働き盛り、日本早稻田大學政治科出身の新人で、滿洲事變起るや逸早く日本軍と共同して地方治安維持に涙ぐましい努力をなし、東北交通委員長として交通復舊に名聲をあげ、滿洲國成立と共に交通部總長に就任、訪日使節として美しい二令孃を伴つて渡日、日滿交歡の實をあげた、氏の功績は滿洲航空路の開拓、國有鐵道の滿鐵委任經營の斷行などで有名な愛犬家として知られ戊年名士中の白眉である

△張實業部總長　滿洲國總長中の最年少者實業部總長張燕卿氏は清末の大人物張之洞氏の御曹子、今年とつて卅七歲の少壯氣銳、學習院高等科出身、なかなかのモダン青年總長、新興滿洲國に精彩を放つ存在で、謹嚴な風彩は執政府內務官として屢々執政代理をつとめ、鮮かなところを見せてゐる

△遠藤柳作氏　滿洲國の大番頭として、鄭總務總理の補佐役として縱橫に手腕を振つてゐる總務廳長遠藤柳作氏も戊年の四十九才昨夏駒井德三氏の後をうけ、愛知縣知事より拔かれて現職に就任するや、永年吸ひなれた煙草も廢し、滿洲國建設完成を念願、身命を賭して滿洲國入りしたことは隱れたる話柄である、さすが日本政界で鍛へられた政治家だけに、抱負もあり、腹も出來、信念に邁進する剛直さは滿洲國日滿官吏に畏敬されてゐる、將來に課せられた內政改革に、全面的人事刷新に、如何なる手並を見せるかは各方面の注目を惹いてゐる

△貴參議　貴福氏は滿洲國參議中唯一の蒙古出身、呼倫貝爾の旗長族に生れ、蒙古政廳の一屬吏から累進して蒙古政廳呼倫貝爾副都統として蒙古統治に當り、次いで滿洲國參議に就任した人　本年還曆、一昨年冬蘇炳文の叛亂に際しハイラルに監禁せられたことがある

△凌興安北分省長　興安北分省長凌陞氏は貴福參議の長子、本年とつて卅七才、親子揃つて戊年生れ、目下呼倫貝爾にあつて牧民に全生命を捧げてゐる

△榮中銀總裁　中央銀行總裁として滿洲金融界に君臨する榮厚氏も今年は還曆、永年吉林省財政廳長兼永衡官銀號總辦として活躍し滿洲建國後現職に就任した滿洲切つての財政通、女房役山成副總裁とのコンビは人目にもうらやましい程で、建國以來の大業たる幣制統一に見せた腕のさへは、將來の財政部總長と自他共に許してゐる、氏は昨年末渡日、日本財界の巨頭連と隔意なき意見の交換を行ひ、殊に長くも　陛下に拜謁仰付けられる光榮に浴した

△栗山法務司長　栗山法務司長は京城地方法院判事から拔擢せられ法務司長として滿洲國司法權の獨立、司法制度の確立に努力して居る司法部內切つての法令通で新法令の制定に活躍を期待されて居る、氏は又劍道二段の腕前を有つてゐる。

新年祝辭

交通部長　丁鑑修題

光陰迅駛倏忽迎年陽春煙景氣象萬千年東同軌郵電實便御汽船空雲浦倬天凡百官南滿洲機要王道誕敷著於情報行發施兼履端布令聯育仁風與春俱到

戊歲の名士（1）

湯淺倉平氏

貴族院議員福島縣人、明治七年生れの六十一歲、帝大出で各縣知事から警視總監、內務次官、朝鮮總督府政務總監、會計檢査院長を歷任し昨年二月宮相に親任された。

謹賀新年

大通電氣株式會社　朝日通六九　電話四九八一番

豆粕豆油製造　雜穀製油原料　精穀飼料製造　滿洲製油株式會社

內外電氣工事請負　大昭公司電氣部　中央通十三　電話三三五〇番

東華洋行販賣部　東華洋行工事部　新京　伊東正夫

高等製靴　金城靴店　東一條通　電話二九五二番

食料雜貨　藤村商店　室町二丁目　電話二四二四番

教育玩具　日乃出　日本橋通　電話二七二一番

製菓商　江戸屋　電話二〇七〇番

和洋雜貨　寶山洋行　新京永樂町　電話四九六〇番　店主 前田伊織　會計主任 奥本馨　販賣主任 山田修三

寶山燐寸工場　前田伊織　電話三四一四番

新京材木商組合

株式會社滿洲モータース　新京支店　新京八島通三二　電話三九〇八番

新京市場株式會社　新京市場賣店組合

大興股份有限公司　新京特別市　北大街第三十六號

美術印章彫刻　文古堂　吉野町一丁目　電話三一四五番

酒專門　森川新京支店　曙町二丁目　電話三八〇八番

食料雜貨　丸德商店　吉野町二丁目　電話三三三三番

寶石堂　正金銀行前　電話三三一八番

日の丸看板店　朝日通四七　電話四七二三番

やまき呉服店　中央通　電話三八〇五番

海陸物產　和洋酒類　食料罐詰　燐寸雜貨　卸問屋　福田支店　日本橋通七二　電話二九八〇番

みしまや呉服店　電話二五三五番

新京洋服商組合

新京百貨店

新京理髪業組合一同

御料理　扇芳亭　新京永樂町一丁目　電話四七〇三番

扇芳グリル　支配人 落合幸之介　新京永樂町一丁目　電話四八〇四番

ラヂオ專門商　東京無線新京支店　新京祝町二丁目　奈良眞治　電話四九二〇番

土產商　甘栗太郎　新京吉野町二丁目　電話二八八七番

和洋家具室內裝飾　大和洋行　日本橋通　電話三七〇五番

和洋料食　調辦所　蓬萊町一丁目　電話二〇七三番

大和化粧院　新京大和通四九　河野光江

食道樂　花本　カフエープランタン　新京永樂町二丁目　電話四七八五番

昭和九年あなたの星廻り吉凶

（一白、水星）

八、十七、廿六、卅五、四十四、五十三、六十二、七十一歳

何と云ふ素晴らしい開運年でせう。千來の憂鬱なんかフッ飛んで丁度極樂に御來迎を拜むやうな氣分の年です。諸事意の如く成らざるなし、福運は機に巡つて來てゐるのですから、勇往果敢、此の運を逃しては不可ません、躊躇は一切禁物です。ドシ／＼事を運んで活躍なさい、千載の一遇とも云ふべき好機來でスゾ。本年の吉方は南、乾、艮、凶方は西、北、坤、巽、六月、十一月と三月、十一月を戒心、色情に注意されたい

（二黒、土星）

九、十八、廿七、卅六、四十五、五十四、六十三、七十二

更生の意氣に燃ゆる年で、根强い忍苦の覺悟を要します。恰も梅花の春に魁けるのに譬る事が出來ます。その貴方の刻苦勉勵がもたらす運勢を無理せずに確かりと攫めば宜いのです。本年の吉方は南と北と坤、艮、凶方は西と東、巽と乾で、戒心注意を要するのは五月と八月です、三月と十一月も感心しない月廻りですから諸事控ね目がいゝでせう。

（三碧、木星）

十、十九、廿八、卅七、四十六、五十五、六十四、七十三

日暮れて道遠し、心細い苦勞年ですから尙更緊褌一番、苦難に打ち克つ覺悟が肝要です、又闇雲に努力次第で、禍を轉じ福とするのも難くないのであります。即ち十二分に緊張し萬事手控ね氣味が宜しいでせう。本年の吉方は、坤と乾、凶方は東、西、南、北、艮と巽の方角ぶり、一月と十一月は戒心月、四月、十月、十二月も良くありません。注意を要します。

（四緑、木星）

十一、廿、廿九、卅八、四十七、五十六、六十五、七十四歳

大に好望の年、地位も得られ財産も手にする事の出來ると云ふ、運氣頗る旺です。進んで總て良しとあります。孤疑逡巡することなく超努級戰鬪艦もて制海權を把握するやうな意氣で何事も斷行すべきです、只上長を敬ひ、その指導に俟つ事が肝要です。三月は迚も惡い月、六月は吉凶の分岐點に立つ月ですから注意を要す、吉方は東、艮、凶方は北、西、南、乾、坤、巽

（五黄、土星）

十二、廿一、卅、卅九、四十八、五十七、六十六、七十五歳

狂つた羅針盤で難航海をつゞけてゐる象です。心勞に疲れる年で、四方八方氣兼ねだらけといふ甚だ不愉快な年廻りです。此の場合「あゝ駄目だ」と匙を投げては不可ません。チーッと食ひしばる事です。慎重に……三月と四月が見込み違ひをする月、十二月が又同じ運勢ですから注意もの、吉方は南北、艮、巽、坤凶方西、東、乾

（六白、金星）

十三、廿二、卅一、四十、四十九、五十八、六十七歳

太陽の西山に沈み夜の帳の垂れるのを見てゐるやうな年廻り、翌の黎明を待つ迄の間、隨分と心許ない年です。萬事韜晦して意の如くならぬため煩悶焦慮するのは宜しくありません。此の際多少心殘りはあらうとも總て手控ねが第一です。殊に、冒險に出てはならぬ。三月、十月、十二月を注意し、苦痛を嘗めぬやう習慣の事、吉方南、北、凶方西、東、坤、乾、艮、巽

（七赤、金星）

十四、廿三、卅二、四十一、五十、五十九、六十八歳

本年は分を知り非望を壓へる事です。映畫のスターのやうな華やかな生活に有福と見られてその實火の車の苦しみをしてゐると云つた年ですから、詰まらぬ虛榮を棄てゝ堅實な歩調で歩んで行きなさい。三月と四月に注意、七月と十二月も良くない。取り分け九春には婦人關係に特別の注意を拂はねば家庭の大不和を醸す事になる。吉方北、艮、巽、凶方西、東、南、坤乾

（八白、土星）

十五、廿四、卅三、四十二、五十一、六十、六十九歳

丁度栗の毬をば掴いてゐるやうに焦々と痒搔けば痒搔くほど心に痛手を蒙れる年、下手に魔胡付くと前門の虎、後門の狼式に進退谷る逆運に引掛るかも知れぬといふ不安さがある、マア／＼あせらず待機状態を持續する事。月運は四月の苦勞月が一ト苦勞だが、戒心さへすれば他に格別の事は無い。吉方は南、坤、艮、凶方は、東、西北、乾、巽

（九紫、火星）

七、十六、廿五、卅四、四十三、五十二、六十一、七十歳

絶壁の上に金塊がブラ下つてゐる樣な年で、確に福運は目前に來てゐるのだが、それを手にするまでの苦勞は並大抵の事であるまい、何事も努めて倦まざれです。急惰は禁物、三月は大不良、七、九月面白くない、總て色情に戒心を要します。吉方は北、巽、乾、凶方は西、東、坤、

謹賀新年

南滿洲鐵道株式會社

總裁 伯爵 林博太郎
副總裁 八田嘉明
理事 伍堂卓雄
同 十河信二
同 村上義一
同 山西恒郎
同 竹中政一
同 河本大作
同 山崎元幹
總務部 部長課長審査役監査役秘書役一同
計畫部 部長課長審査役一同
經理部 部長課長一同
鐵道部 部長課長一同
地方部 部長課長一同
商業部 部長課長一同
建設局 局長次長課長一同

(いろは順)
岩男其二郎
入江正太郎
池田嘉一郎
今村貫一
猪子一到

五十崎正大
石橋米一
若月太郎
渡部重吉
西田猪之輔
小川順之助
小住善藏
小倉鐸二
大坪正
岡野勇
大場春吉
太田信三
大内成美
賀來之憲
吉村英吉
吉野實
高田友吉
築島信司
中村繁次
爪谷長造
野木定吉
栗山藤二
葛和善雄
山葉龜五郎

山縣庄太郎
山縣稔
山中繁雄
增田義男
桝田憲道
前川和
馬久一
松浦開地良
福本順三郎
近藤誠久
古泉光男
江崎重吉
寺田良之助
寺澤常叡
秋山卯八
宮井隆次
白濱多次郎
志村德造
鹿野千代槌
篠原豐三郎
廣石郁磨
守中清
森川莊吉
關根四男吉

土屋於菟熊

杉浦熊男

末網胖

大連市役所 各課長一同

滿洲電信電話株式會社 總裁 山内靜夫

南滿洲電氣株式會社

南滿洲瓦斯株式會社

大連火災海上保險株式會社 社長 村井啓次郎

大連汽船株式會社

株式會社 昭和製鋼所 社長 伍堂卓雄

三井物産株式會社大連支店 支店長 阿部重兵衛

株式會社 福昌公司 專務取締役 相生常三郎

國際運輸株式會社

福昌華工株式會社

社團法人 滿洲土木建築業協會

滿洲化學工業株式會社 社長 斯波忠三郎 常務 右近又雄 常務 深水壽

大連自動車株式會社 社長 田邊敏行

大連市連鎖街 丁字屋洋服店 泰豐助

大連市山縣通 藥種貿易商 乾卯商店大連支店

奉天 大連 新京 合名會社 森洋行 大連市連鎖銀座通 電話代表四一三番

遼東ホテル 山田三平

營口 近江洋行 本店 營口新市街 支店 大連市浪速町

大連 浪速町 船塚

合資會社 白鹿商店 大連市紀伊町一三

貴金屬總本店 時計 寶石 近江洋行 河合芳太郎

滿洲旅館協會 大連市紀伊町

大連 合資會社 連鎖商店

大連 舞踊場組合

大連 逢坂町遊廓組合

大連 大連三業組合

大連 扇芳亭

新作落語

惚れられた狆

立花家圓喬演
櫻井紅風書

新年早々相變らず馬鹿々々しいお笑ひを申上げます、愈よ一九三四年の初春、本年は戌の年で御座いまして、犬といふ動物は古來から我々人間に最も縁の近い動物で三日飼へば三年の間その恩を忘れないなどと云はれ、頗る怜悧な奴で御座います、今日では軍隊でも犬を使用して色々と効果を擧げて居りますやうで、昔から役にたたない士を犬侍などと云つて居りますが、どうしてそれどころでありません、現に今回の戰爭に於ても軍用犬の動功は賞すべきものが多々ありましたやうで

「おゝ、土佐、秋田、セッタア、ポインタアにチンコロ、皆集つたが、サアずつと此方へ寄んな、何しろこの新年てえるのは、愈よ十二年目にめぐつて來た俺達の年だ、兎に角新年宴會なんて四角張つたもんぢやアねえ、無禮講で一ッ陽氣に祝つちまはうてえんだ、遠慮なしにウンと呑んで、自慢話の一ッも聞かせて貰はうぢやアねえか」

「えゝブルドックの親方、自慢話てえ事に就いちやア、あたしなんざア先づイの一番に聞いて貰いてえもんで」

「ホオゝ、聞かうぢやアねえか」

「一体あたしの先祖てえのが偉かつたね」

「フーン、そんなに偉かつたのかい」

「そりやアもう、何しろ今日でも銅像になつて殘されてる位ですからな」

「へえゝ、犬の銅像なんざア余り聞かねえが、で、何處にあるんだい、その銅像てのは？」

「上野」

「上野？　上野の何處だい？」

「何處だいとは情ないね、山を登ると直ぐだね、廣小路の盛り場をまさもに見下してニユツと立つてるね、尤も一匹ぢやア寂しいてえんで人間を一人仲に連れてゐる、あの人間は何んでも西郷隆盛とか云つて……」

「おい／＼一寸待らな、話がまる切り反對だな、何だい西郷さんの銅像の事か、それぢやアお前の先祖の方が連れられてるんぢやねえか、いはゞ西郷さんの飾り物だよ、トンカツの側へくつついてるキャベツみたやうなもんぢやアねえか」

「一品料理と一緒にするのは殘酷ですね」

「他にねえかい、先祖の自慢話は？」

「わッしの先祖てえものが偉かつたね」

「おッ、土佐犬だね、何だい先祖は？」

「役者、俳優、アクタア」

「色々並べたな、いゝ役者だつたのか」

「いゝつたつて何たつて、先づ當今で云へば羽左衛門か左團次てえところだね、第一演る場面がよかつた」

「其奴は初耳だな、どんな芝居に出たんだ？」

「慶安太平記」

「ホゝオ、高島屋の十八番物だな、役は何だい、丸橋忠彌か？」

「いゝえ」

「松平伊豆守か？」

「ノオ／＼」

「弓師藤四郎？違ふ？何だい一体？」

「あの、堀端で忠彌に吼えつく犬さ」

「プッ、何だい變な役だね、あれならお前役者でなくたつて出來らアな」

「ところがあれが大變な評判だつたね、まるで眞物の犬そつくりだてえんで」

「巫山戯ちやア不可ねえ、どうも何だな、自慢話も面白くねえな、何かかう酒の席だ色氣のある艶ッぽい話はねえか？」

「オホン、クンクン、憚り乍ら艶ッぽい話てえ事に就いちやア先づ俺だね、どいた／＼」

「おッ、大變な奴が出やがつたね誰だい、おゝッ、チンコロだな、何だい話てえのは？」

「何だいッてつたつてさう簡單に出來るやうな安ッぽいもんぢやねえ、感謝感激、熱涙ボウダ、世紀的一大戀愛事件」

「おッ、英語だね、誰だい相手は？」

「まう、アッサリ言つて貰ひたくねえな、相手は平民ぢやアねえ、華族の未亡人だ」

「へえゝ、驚いたな、おゝ皆聞いたかい、相手は華族の未亡人だとよ、尤もチンコロと未亡人なんざア縁のねえ事もねえからな、で何かい、美人かい？」

「モチ！、毛並みと云ひ、耳の工合と云ひ、先づ何だね、警視廳の野犬捕獲員へ了つたつてこの位の女犬てえのはなからうな」

「變な所を引合ひに出したね、けれどもお前どうしてそんなのと知合つたんだい？」

「それだ！、そも馴染めの始り……」

「唄つちやア不可ねえな、何處だい？」

「恰度この暮だ、愈よ年も押しつまつた、お互ひにもう一踏張りやらうぢやアねえかてえんで、番犬組合の方の寄合が戸田ケ原か何處かにあつたらう、あの晩だよ、俺が用足しの戻りに横町の食堂へ入つて親子丼を一ッ注文したと思ひねえ」

「ホオゝ、氣張りやがつたな」

「氣張つたわけぢやアねえ、實は十五錢だてえから余り安いと思つて注文したわけなんだが、見るてえと呆れたね、大体皆の前だが親子丼てえものは、雞肉と卵とが入つてるから、肉と卵でつまり親子てえ勘定だ、ところが卵なんざア影もねえ」

「肉ばかりか？」

「ところが呆れた事にゃその肉も行衛不明だ、痕跡を止めてゐねい、その替りに何が入つてゐると思つたら燒豆腐が入つてゐやがつた」

「へえゝ、それぢやア親子にならねえな」

「俺も可笑しいと思つてよく／＼調査の歩を進めてみたら驚いた事燒豆腐の裏手の方に當つて、青豌豆が二粒伏勢になつてゐた、豆腐と豆だ、疑ひもなく品こそ變れ確かに親子とこそは相見えたり」

「氣取つてちやア不可ねえや」

「だから俺が怒つた「箆棒奴こう見へたつて江戸ッ子だ、公園裏の塵箱をあさつて、電信柱に片足あけて小便を垂れてゐる様なケチな犬たア犬が違ふんだ、こんなインチキな物が食へるか！」怒鳴りつけてやつて箸もつけねえで押返した、けれども男だ、一旦注文したものを錢を拂はねえたア言はねえ！」

「偉い！偉いね、拂つて來たのか？」

「拂はなかつた」

「何だい、拂はねえで威張る奴があるか」

「縁があつたら拂つてやる時もあらアー」てんで飛出したトタンにその食堂から跡を追つて飛出して來た女が「あのオもし」と來た」

「ホオ、それかい女てえのは？」

「いゝ加減にしろ！」

「女の云つた事がよかつたね」「アタシ貴方位男性的な男の方を見た事がなくツてよ、どう？、アタシにつきあつて呉んない？」とお出でなすつたね、どうだい？」

「おい／＼涎が垂れるぜ、チンが涎を垂らしてゐるんざア余り褒められた顔ぢやアねえ」

「嫉ねめ／＼！だから俺もOKとばかり尾を振るてえと女も尾を振つて、尾と尾が何時の間にか觸れ合つちまつて最初のアクビ」

「何だいアクビてえのは？」

「人間同志で手を握るのが握手だらう、俺達はそれを尾でやるからつまり握尾だ」

「變な事を云ひやがるな」

「それから意氣投合てえ事になつて、アタシの家へてえんで、行つて見ると家内はその未亡人と耳の遠い婆さんの三人暮しだ、直ぐに酒が出る、差しつ差されつ四疊半女の奴が段々とかう身体をすりつけて來ながら「ねえ何か唄ひなさいよ」てえから俺が粋な聲で唄つたね」

「呆れたね、お前の聲なんてえものは粋の澁いのてえ聲ぢやアねえ、まるでアンペラでも引裂くやうな聲だ、交番の巡査がさう云つてたぜ、あんな聲を出すと大掃除をさせるつてさ、一体お前、何を唄つたんだ？」

「ショーカだ」

「ショーカ？」

「あゝ、ポチはホントに可愛いゝなア……」

「ウブッ、よせやい、厭な奴だねそんな唄を四疊半でやる奴があるもんか」

「すると女がもつと面白いのをと云ふから、その次ぎにやつたのが「涙の渡り犬」……」

「ホオゝ、新作流行小唄と來たね」

「雨の日も、風の日も、泣いて暮すいわアたしやい涙の渡り犬、泣くのぢやないよ、泣くんぢやないよ、泣けば、チンチンも、儘ならアぬウ」

「可笑しな唄をやりやがつたね」

「その中に二匹共醉拂つちまつた、婆さんが床をのべて呉れて直ぐにお休みと來らア、無論これがダブルベッド」

「殴るぜホントに！」

「五六時間てえものあブッ通しに寢むつて目が醒めてみると驚いたねダブルベッドの筈のが下水工事の穴の中に寢てゐた、而も俺一匹だ、女も婆もゐねえ、家もねえ、それぱかりか俺は眞裸体で、チャンチャンコも首輪もねえ、驚いたね」

「面白え！だから氣をつけろてえんだ、あの近所には性の惡い狐や狸がウヨ／＼してゐるんだ、大方何だらう、その女が狐で、婆が狸、二匹の馴合ひでやつた仕事だらう、旨く化されやがつて、馬の小便か何か飲まされて來やがつたに違えねえ」

「その通り！」

「感心してゐる奴があるか、だから色氣を出す面ぢやねえと云つてるんだ、ザマアみやがれ！これからは氣をつけねえよ、二度と變な女に係りあふんぢやアねえぜ」

「へえ、もうコリコリ「狐狸々々」しました」（をはり）

謹賀新年

新京ヤマトホテル 千葉千代吉

東亞土木企業株式會社 新京出張所 伏見晉太郎 中央通二六 電話二八二〇番

三井耳鼻咽喉科院 三井忠

千葉修一 新京中央通 電話二八二番

合資會社 永吉組支店 永吉由藏 中央通二八 電話二八二〇番

名古屋優良商品紹介所 松榮勇 新京東五條通三 電話二七五七番

山本晴雄 新京中央通 奉天浪速通

吉田廣盛 廣春洋行

合資會社 盛倉洋行 荒木伸之

岡田小太郎 平本洋行

福田右一 福田商店

西堀藏吉 丸重運送店

西村清兵衛 西村洋行

小松兼松 小松製材所

山内寅重

泰山行 山下藤藏

内國通運株式會社取引店 三共運輸公司 田中正

弘津安五郎 新京祝町

四戸友太郎

新聞と文房具 大每舍 田中勘助

大信組 赤羽一二

新京興信公所長 清水末一

井本運送店 祝町二丁目 電話三八四三番

裕泰號 末松正實

井上示現軒 新京室町校前 電話三二〇三番

大有通公司 電話三一〇五番

食料雜貨 梶原洋行 電話二二五五番

建築材料 船越洋行

桃太郎食堂 吉野町一丁目 電話三七八〇番

食料雜貨 柳田商店 電話三〇九七番

生そばいうどん 丸長 支店 電三一三九番 本店 電二一四二番

向陽ホテル 本彈次 新京中央通七三 電話三八八二番

北澤製版所 曙町四ノ九

和洋雜貨 現代號 日本橋通 電話二一八八番

夜具布團 帯世帯道具 酒井商店 電話二四六四番

食料百貨 三浦洋行本店 永樂町一丁目八 電話二五六七番

藤崎工作所 吉野町一丁目 電話三三二六番

夜具布團 呉服 篠田商店 一條通 電話三七二九番

謹賀新年

謹告

皆様の絶大なる御援助のもとに舊臘新館落成仕候、この滿腔の感激を記念すべき更生最初の新春を迎ふるに當り

茲に從來の甚大なる御同情を深謝すると共に更に内容の充實サービスの萬全を期し以て大衆娯樂の殿堂皆様の新京キネマとしての御期待に添ひ申すべくあへて誓言申上候

何卒倍舊の御後援を伏して懇願奉候

館主敬白

音樂部 白木昌男 石田晋 岸本いさ子 大竹五郎 近藤一夫

宣傳部 伊藤佗佳史 富永美晴一

お茶子 お梅 お秋 お春 お夏 お松 お花

解説部 メ家たか 東壁波

事務員 花柳みさり 保志一郎 吉田保己 三宅昇 大西鶴子

映寫部 藤崎辰五郎 林昇 木村武一 瀧巳月郎

支配人 三戸壽

館主 岸本朝次郎

百貨店 金泰洋行 新京日本橋通 電話二一五九番

日本（ニッポン）の聖女（マリヤ）

（舞臺上演 上映）

生田葵

南部龍平畫

一五

美男と美女（二）

お察は止めた。

「暫くとお待ちなされてくださりませ。今宵此處で命を落とした此の二人、私に危害を加へやうとしたとは云へ、此の人達から云へば役目を果さうとした忠義者、身内の人もありませう程に氣の毒でなりませぬ。マリア様のお惠みが此人達の亡き骸の上に加はるやうお祈りをいたしてやりたう存じまする」

「此の人達の死んだのも、大きな惠みと、大きな平和が此日本國へ齎される爲の犧牲、死人に罪は御座らぬ。祈つておやりなされませ」

數之丞は然う云つて、お察が死人の傍たはつて居る前にひざまづき、天に向かつて合掌して、サンタ、マリア様、何に卒この氣の毒な人の肉體を放れた靈魂の上に、廣大無邊なお惠みをくだし置かれるやうにと、祈禱の言葉を述べる間を、自分の胸に幾度も十字を切つてゐた。

祈禱を濟ましてお察が立上ると二人は連立つて鳥邊野の方へと歩き出した。

「お察殿拙者此度江戶へ參りし使命は略成就いたしました。江戶では長州の利け者桂小五郎、井上聞多、伊藤俊介の三人、薩州藩では大久保市助、越前藩では橋本左内、其他五六の有力藩の志士にあひ、拙者が十六歳の時清國上海に渡り、それから伊太利へと赴き、更にフランスへと立越え、前後八年間さうした海外の文明國に滯在して見たる彼の地の風俗、文物、制度、取り分け帝王の權威と人民の權利の模様を物語りまするに、只々感歎いたして居りました。更に伊太利の羅馬法王廳と各國帝室の關係を話し、一國の帝王が王位に就く時は戴冠式とて、一々僧侶より王冠を受くる式典や、泰西一切の文物制度の思想は此の羅馬教の神の信仰より湧き出たことを詳しく申傳へましたところ、一人たりとも羅馬教を非難したものはありませなんだ」

「いろいろとお骨折り御苦勞の儀にうれしう存じます」

「不思議なことは尊王攘夷を唱へる諸家の士は、我等の開國の趣意とローマ教の布教自由の說に耳を傾け、開國を主張してゐる幕府方に少しでもそのやうな說を述べやうとすると、異色を爲して耳を閉ぢましたことで御座る」

「やはり今京都に居る浪士達が尊王攘夷を主張してゐるのは、その實幕府を苦るしめる手段であつて眞實は開國の說を持ち、何れの國の宗教を廣布しても自由であるとの信念を持つて居るもので御座りませう」

「確に然うと思ひました、その證據には拙者が彼の地より持歸りし清國對フランスの條約に添へ加へて、ローマ教の聖書を一冊づゝ贈りしに、誰もが大喜びで御座りました」

そんな話をしてゐる中に二人はもう鳥邊野へと來てゐた。

二人は直墓場の中の小徑へと這入つて行つた。

お察は自分の心が、自身にも判らない程浮立つてゐるのを感じてゐた。

一年以前今此處に連立つ數之丞が、江戶へ旅立つて行くのを、夜の引明以前の薄暗がりに、矢張り此邊迄見送りに來て。

「それでは道中お身体を大切にお過し遊ばせよう」

と、言葉を交へて別れた時、自分は闇の中に突きやられたやうに寂しく思つた。

○……○……○

謹賀新年

新京警察署

警務主任 警部 渡邊政雄
高等主任 警部 堀內幸治
司法主任 警部 倉田庄五郎
保安主任 警部 井之上理吉
衛生主任 警部 後藤力
兵事主任 警部 三橋康豐

新京領事館警察 猪股與惣治

國際運輸株式會社 上林季四

商務會 內海勉

寶洋行 宮本信七

新京齒科醫師會（イロハ順）

錦町三丁目 早川齒科 早川武夫 中川仁徹
吉野町一丁目 田中齒科 田中勳
中央通 內田齒科 內田濟三郎
東三條通 滿鮮ビル內 久留島齒科 久留島スガ
中央通四六 山崎齒科 山崎錦司
滿鐵病院齒科 廣野八千代 濱山滋樹 菱刈幸盛 松崎義廣 部司掛次郎
蓬萊町一丁目 松崎齒科（分院日本橋新ビル內）
吉野町三丁目 松崎齒科 松崎時久 松崎信家
東四條通 小島齒科 小島鉄郎
日本橋畔 安利齒科 安利ゴールデス
吉野町一丁目 佐竹齒科 佐竹義子
中央通十一 清水齒科 清水信義 籏野勝
公主嶺 四道齒科 四道嘉人
衛戍病院齒科 松尾澄一
吉林新開門外 廣志齒科 廣志天籟

石崎洋行 石崎廣治郎

天野商店 天野恒太郎

市瀬工務所 市瀬良胤

新京市場株式會社 砂原滋二

大阪每日新聞 新京支局長 櫻井重儀

報知新聞 新京支局長 中西眞

新聞聯合社 新京支局長 小野敏夫

長春滿洲通信社 主幹 田中直記

大連新聞新京支社 高橋勝藏

日本商業通信 新京支局長 藤田藤助

日本電報通信 支局長 藤井祥正

金龍洋行支店 山下要八 新京永樂町一丁目 電話四八三五番 支店哈爾賓

大山木廠 東二條通 電話三一一一番

松岡自轉車商會 新京大馬路

北原廣 北原紙店

吉林燐寸株式會社
日清燐寸株式會社

大同理髮館 吉田政喜 新京日本橋通六九

通遼之部

通遼 縣公署

通遼 電燈廠

在鄭家屯領事館警察分署長 岡田七郎

通遼憲兵分遣隊長 高橋武之進

四洮醫院 山根純祐

通遼 農場

博愛醫院

陸軍 興安省警備軍 四洮鐵路 諸官衙 御指定 通遼ホテル 電話一〇五番

御料理 看月 支店 電話一三八番
（いろは順）千代鶴 おもちや かろた やんちや 小波 五郎 三郎 宮子 美子 廣子

通遼貿易館 盛進號 通遼南大街 電話十八番 振替大連一八〇二番

老篤目藥 胃活 特約店 大同藥房 通遼永福大街 電話一四三番

土木建築請負 千々松工務所

御旅館 通遼驛前 日本館 通遼案內斡旋所

カフエーオフシス 半七 電話六二番

御料理 松屋

カフエーオフシス 東蒙汽車公司 通遼開魯間バス 代表者 小西啓介

邦獨文タイプライター
邦文モノタイプ
萬能活字鑄造機
複式金額タイプライター
邦文自動紙送謄寫版

日本タイプライター株式會社新京出張所 新京富士町四丁目 電話三三三八番

社團法人 新京賽馬俱樂部

瀨下金 新京・菜町一丁目 電話一三九四番

新京三業組合
新京檢番組合
電話四八四〇番

新京自動車組合（イロハ順）
日滿タクシー 電話三〇〇三番
富士屋タクシー 電話二〇九七番
朝日タクシー 電話三二九五番
曙タクシー 電話二六三六番
新京タクシー 電話三九五九番

福井高梨組新京出張所 中央通二六 電話二六八一番

御命名式旗行列に宣傳旗を使用
大阪〇〇新聞社の心無さに右翼各團體激憤

廿九日 皇太子殿下御命名式を壽ぐ在新京各機關參加の旗行列に際し地方事務所において用意されてゐた國旗を使用させず大毎は大阪〇〇新聞社のマーク入りの旗を參加者に持たせさながら大阪〇〇新聞社の宣傳行進の如き觀あつたに對し亞細亞研究會正義團、長勇會初め右翼團体有志は『國を擧げての奉祝祭を自己宣傳の具に供しあまつさへ學校生徒、兒童に對し甚だ好ましからざる印象を與ふるものである』と激昂し大阪〇〇新聞社に對し謝罪を求めると同時に當日旗行列の司會者に對しその責任を問はんとしつゝあり、取締當局においても實情調査に着手しその成行は注目されてゐる

菱刈長官から猪一頭
新京署員を慰勞

菱刈關東長官は新京署員の年末慰勞のため三十日目方八十貫目の大猪を署員に贈つたので三十、三十一兩日午後四時から演武場に於て署員一同猪汁に温つて歡談した

無事越年を喜ぶ新京署の喜び
今年も事故は殖ゑそう

十二月十日より三週間に亘つて行はれた年末非常警戒も三十一日無事終了、その間大した犯罪もなく、年末の市内の治安が今年ほど平穩であることは未だかつてないことであると云はれてゐるが、無事この大任を果した倉田司法主任は三十一日左の如く語つた、

「今年もいよく終つて輝しい昭和九年を迎へます急激な人口増加のため、匪賊强盜事件多く管内の發生六十九件、その被害十四萬四千圓で、關東廳下第一位で、第二位の奉天の二倍以上となつてゐるがこの中の檢擧件數管内五十七件、管外百三十件で未檢擧十二件で、頗る好成績で、八月の夏季特別警戒、年末特別警戒に引き續き警戒厳重のため、日本橋通り日貫きの强盜事件も犯人を檢擧しつた、年末は例年になく平穩であつた、來年は尚犯罪增加の傾向があるので、卅、卅一兩日に亘つて不良分子の一齊檢擧を行つて彼等に脅威を與へておいたが、來年も引き續き豫め脅威を與へて發生を防止する方針をとります」

斥候勤務の軍用犬
何を認めたか緊張の姿勢

ワン公御難
最近盜まれて仕方がない各家庭御注意のこと

二千五百九十四年こそは俺たちの年だ、と九十四年の門前に頑張つてゐる犬君にごうも御繼續きで力落ししてゐる、事變以來非常時日本では軍犬の奬勵が叫ばれて軍部ではもとより各家庭でも相當高價な良犬が多數飼はれてゐるがこの頃この良犬を專門に盜む者が新京にある、守備隊でも昨年内に軍犬が二頭も盜まれ荒木地方事務所長のセパード、山内少佐宅のピンセツト、野村新京鐵道事務所營業長愛犬のブルドツクがいづれも何ものにか盜まれて未だに發見されず、これ等愛犬家は悲嘆に暮れてゐる、良犬飼主はどなたもご用心ご用心

密輸取締りのため
飛行場で空輸貨物檢査實施

滿洲國財政部では最近激増せる航空郵便利用密輸取締りのため、新京、奉天飛行場に於て空輸旅貨の稅關檢査を行ふこととなり、一月早々實施することとなつた

火災防止のため水道現場員詰所新設

新京國都建設局區域内新發屯及南嶺兵營附近に於ける火災防止のため左記水道現場員詰所を新設することとなつた

建設局寬城子	電八三八
水道現場詰所	四二三〇
連絡用	四二九七
同	四廿四三

益公旅社の新年

特別市政公署で委任經營してゐる城内東四馬路の益公旅社では宿泊旅客サービスの意味において元旦には特に糯米一斗を搗上げその他スルメと粗酒を出して異郷の空でのお正月に屠蘇を馳走すると

靴屋さんが四千圓献金

〔東京國通〕東京市居住の靴商を營む吉田善吉郎氏は二十七日東海道線列車で西下中、車中同席の男より日本の國際的危機を聞かされ、地の憲兵隊に出頭し國防基金として金四千圓獻金を申出で非常時歲末美談と言はれて居る

丁交通總長の愛犬ぶりを聞く

私は戌の年の生れでありますが偶然とでも言ひますか小さい時から犬が大變好きで今も三匹ほど飼つてをります。犬くらひ親切で忠實で眞面目な動物はないと思ひます。人間の奥さんは主人が少し外で浮氣すると泣いたりおこつたり隨分ヤキモチをやいて主人を困らせるものですが犬の奥さんは主人が浮氣しても知らぬ顔をして少しもやきません面白いでせう、私は毎朝七時に起床しますが時によつてをくれることがありますと心配して起しにきてくれます、朝晩の送り迎へも欠したことがありません、妻よりもやさしく而も禮儀が正しくほんとに可愛ものであります外に出てゐる時はなによりも犬のことが心配になります。交尾期になると女を中心に猛烈な喧嘩をやりますが男女は決して喧嘩をいたしません犬の壽命は普通十五、六年とされてをりますが年に一度は後尾させないと早く老衰します（寫眞は丁總長の愛犬ぶり）

頭道溝郵局卅日白晝火災
郵便物は被害なし

三十日午後零時二十分富士町頭道溝郵局階上應接室から出火、歲末年賀狀締切日のこととて新京消防隊、警察かけつけ鎭火につとめた結果同三十分鎭火した、原因は應接室のペーチカを焚きすぎた結果壁に引火天井に燃え上つたもので發見が早かつたため郵便物その他には被害なかつた

拐帶逃走

大和通六十五番地新京理髮店田中太次郎氏方雇人子田中豐記(二一)は廿九日午後五時頃現金百五十圓拐帶行方不明となつた

戌年生れの新京キレイどころ

文久二年生れ七十三歲、明治十一年生れ五十七歲、明治三十年生れ三十七歲、同四十三年生れ二十五歲、大正十一年生れ十三歲、それと今年生れが戌年に當ります、これまで毎年お正月には花柳界から其歲うまれの姐さんたちをひろいだして御紹介するのが例になつて居ります、月に日に膨脹しつゝある大新京の花柳界も殖へれば移動も起り、なかく正確なところが突きとめられないので、例によつて舊年十二月一日現在のところで調べあげたのが左の通り、全部寫眞をと思ひましたがなかく手に入らない、そこで手許にあつただけをのせることにしました、今年は十三歲の舞妓は皆無、二十五歲のあぶらがのつたところばかりであります

〇八千代館
豆千代　兵庫縣生まれ

〇開花
松千代　東京生まれ
富千代　東京生まれ
いろ千　横濱生まれ

〇千鳥
ひさご、山口縣生まれ
若治、廣島縣生まれ
太郎、名古屋生まれ
正千代、和歌山縣生まれ
花香、長崎縣生まれ
勝治、名古屋市生れ

〇東明
小妻、長崎縣生まれ

〇千草
三千代、佐賀縣生まれ

〇新杵
照葉、北海道生まれ
福助　同

〇永樂
一龍、横濱市生まれ

〇泰
澄間、岡山縣生まれ
玉八、大阪市生まれ

〇水月
月香、島根縣生まれ
メ龍、佐賀縣生まれ

〇大吉
笑治、大阪市生まれ
米吉、東京市生まれ

〇いくよ
光五郎、北海道生まれ

〇やよひ
富美香、長崎市生まれ
城内側

〇いろは
八重駒、愛媛縣生まれ

〇戀素
戀太郎、樺太生まれ

〇共榮樓
久松、香川縣生まれ

寫眞は八千代の豆千代開花の松千代、千鳥の太郎と勝二の四姐さんです

年頭所感
國務院總務廳長　遠藤柳作

余は滿洲國建國後二箇年許りの今日迄に於ける建國諸工作の進展を顧みるとき先づ深き驚異の感に打たれざるを得ない、嘗てリツトン委員會は其の報告書中に於て「滿洲國政府が其の政策を遂行する經費したる時日の短き事を充分酌量し且既に講ぜられたる手段に對し篤と斟酌を加ふるも猶此の政府が事實上其の改革案の多數を遂行し得べき事を示す何等の徵候存せず」云々と評したものであるが、この滿洲國政府が滿洲國建國後僅かこの二年間に於て如實に爲し遂げ得た各般の改革はその規模に於て、又その價値に於て眞に驚歎に價するものであつてリツトン委員會の確信に滿ちたる得意の豫言は現實に於て全く粉碎し盡されてゐるのである、試に大同二年中のみに就きて具體的施政の二三の例を指示せんに財政方面に於ては元年度決算は豫算超過歲入一四五〇萬圓に達し、結局剩余額は一九八七萬圓の多額に達したること更に二年度豫算は元年度に比し一一二〇萬圓の増額を計上せる豫算を餘裕綽々たる狀態を以て編成せられたること、關稅內國稅の全國の各徵收機關は殆んど中央政府の統制下に置かれたること、全滿各縣市の行政も亦省公署及民政部との系統ある組織に融合し活動を開始せること、匪賊に對しては徹底的討伐と招撫工作によりその數及勢力の顯著なる減少を示したる事、國防及産業上必要なる國道は着手四千粁での内竣工開通を見たるもの實に二千五百粁を示したること、鐵道新線の開通六九六粁を見たること、五十萬人を收容すべき國都建設五ケ年計畫既に三分の一の工程に達したること中央銀行の營業益々順調にして其礎固まり國幣の流通全國に普及すると共に舊紙幣の回收進展し既に約七割五分を回收し得たること、熱河の短撫完成し疲弊せる省民救濟の計畫着々實行せられたること日滿兩國を電氣通信施設を統一管理下に置き通信網擴充の素地確定せること、内外諸人に對する舊政權の負債を整理し約八百萬圓の支拂を敢行せること、各種資源の開發産業の振興に對する諸調査著しく進行し、具體的計畫案着手の域に到達せること等、無數に之を列擧するに難くないであらう、此を現實に示された事實に對しては世界萬民何人と雖も之を否定することは出來ないであらう

余は就任後日尚淺しと雖も政府首腦者並に之を助くる日滿人官吏の獻身的努力とその功績に對して滿腔の敬意を表せざるを得ないのである余は茲に大同三年の春を迎ふるに當り、無限の感激と熱誠に充たされてゐる、思ふに建國の理想は高く揭げられ國礎既に固く定められたりと雖も此理想を具現し此國礎を榮えしめんが爲に吾々の爲す可き事はこれからが大仕事である治安著しく改まり行財政の基本工作亦驚くべき進展を見たりとは雖も未だ殘されたる部分少なからざるのみならず進んで諸産業の振興、文化の向上、資源の開發外交政策の開拓といふ方面に向つては之からが仕事始めであるといふべきである、殊に地方行政の革新、稅制の整理改善、國情に即したる農業政策の實行、司法機能の確立、敎育の振興、殘匪の剿滅、民力の涵養等は本年より一層力を注いで實行せられなければならぬ當面の問題であらうと思ふ、今や世界を擧けて對内的對外的苦惱多き現在の列國情勢裡にあつて未だ幼少なりとは雖も溌溂たる英氣を以て生育しつゝある滿洲國をして眞に天人共に許す王道樂土の天地たらしむるに就ては最も責任の重大を感ぜざるを得ないのである、茲に大同三年を迎ふるに當り益々國內官民の一致團結を必要とすると共に日本上下の變らざる援助を乞ふ次第である、一言以て所感を述べて祝詞に代ふ

謹賀新年

1934　2594